

開 催 報 告

種 別	公開研究会
開催日時	2025年3月15日（土）11時00分 ～ 13時00分
開催形式	対面開催
対面会場	中央大学多摩キャンパス GLOBAL GATEWAY CHUO（グローバル館） 6階604号室
共 催	国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（B）） 「インドネシアにおける性的少数派とイスラームの関係 ：寛容的社会の構築に関する研究」 （研究代表者：加藤 久典研究員（中央大学総合政策学部教授））
講 師	Ulil Abshar Abdalla（ウルル・アブシャー・アブドゥラ）氏 （ナフダトゥルウラマ大学講師、NU 執行委員）
テ ー マ	「少数派との共存の可能性について：イスラームの視点から」 ※事前案内から一部改題
参加者数	20名

<報告要旨>

インドネシア最大のイスラーム団体の常任理事であり、同国を代表するムスリム知識人であるウルル・アブシャー・アブドゥラ氏が、他宗教や少数派に対するイスラームの基本的姿勢について、神学的、社会的な解説を行い、インドネシアの歴史的、言語的また宗教的な特徴が少数派との共生を可能にするメカニズムを生み出すとの見解が示された。特にインドネシアのイスラームの特徴として、その文化的、歴史的な重層性が指摘され、イスラーム・ヌサンタラとして結実していることが強調された。

また、中東的イスラームとインドネシアで発展を遂げたイスラームの共存や性的少数派に対するムスリムの姿勢などについて詳しく論じられた。

会場からは、ワリソング（インドネシアにイスラームを広げたと言われている聖人）やワハビズム（イスラーム急進主義）の関係、イスラーム教義とムスリムの行動の関連性、日本社会に対する分析など多岐にわたって質問や意見が寄せられ、ウルル氏と活発な議論を行った。

<活発な意見交換の様子>



<終了後の記念撮影>

